

コース制 第1期生 追手門学院中高等学校

の成果

校長 土井 邦孝

はじめに

校庭に桜が咲き誇る中で、平成十五年度入学式・始業式を行い、新年度の教育活動が始まりました。校長室からも、廊下やグラウンドでの活気あるやりとりが聞こえ、生徒たちの明るく楽しそうな様子が伝わってきます。

改革のシンボルとして新調した紺のブレザー・スーツの制服が全学年に揃った今年度は、本校の教育改革が導入期から充実期に移行していることを実感し、心が引き締まる思いです。

教育改革の根幹である「学力向上」を目指したさまざまな学習活動は、この年度末に精査を加えて、成果として確認できることと、課題として残っていることに分別し、基本的にはこれまでの取り組みを基盤にしながらも、新たな企画も積極的に採り入れる計画です。今年度は「質の向上」をキーワードに、生徒一人一人からさらなる学習意欲を引き出し、将来展望に自信と可能性を与えることができる教育活動に邁進する決意です。

幸いにして、中学校教育への関心の高まり、高校入学志願者の大幅増加や大学進学への飛躍的な躍進は、皆さま方にも喜んでいただける成果として報告できることを誇らしく思います。

また、本校の教育活動に対して、山桜会の皆さま方をはじめ、学院関係者や地域からの高い評価は、非常に力強い支援となっています。必ずや生徒たちの夢や目標の実現に繋げて、皆さま方の期待に応える所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

大阪大学・早稲田大学をはじめ難関校合格

この三月に初めてコース制で3カ年を過ごした生徒たちが卒業しました。学力の向上・進学実績の向上をうたって導入したコース制ですから、学校

としても進学実績には大きな関心を持って指導して参りました。昨年度来各種入試説明会において、模擬テストデータなどをもとに今年度の大学合格者数は激変する、大幅にアップさせるとお話しをしてきました。

結果としては、現役で国公立大学には大阪大学・大阪府立大学・千葉大学・岡山大学をはじめ20名が合格し、私立大学にも早稲田大学（3名）立命館大学69名をはじめ別表の難関大学に多数が合格しています。このように、昨年までの合格状況を一変させることができましたので、コース制初年度の成果をご覧ください。来年以降、更に今年の結果を倍する実績につなげる取り組みを押し進めて参ります。ご期待ください。

学力アップを支える学習・教育システム

コース制の導入以来、私どもは入学してきたそれぞれの生徒について、どの生徒も伸ばしていくことを目標に教育のシステム化に取り組んで参りました。「システム化」という言葉は何か機械的かつ一律で冷たい感じに聞こえます。しかしながら私たちは、個々の教員の名人芸的な学習指導法を超えて、たとえ新任の教員であっても質の高い教育を施すことができるシステムを構築することにより最大限の学習効果を得ることを目指しています。この3年間、左記にお示ししました様々な取り組みをはじめ、クラス編成や習熟度別授業のあり方など、試行と改善を積み重ね今日に至りました。ここで、その一端をご紹介させていただきます。

《一つ目》はコース制の導入による1年次からのコース毎のクラス編成およびカリキュラム編成にあります。また、総合文理コースは英語の習熟度別授業を導入しています。それにともない、時間割編成上、総合文理コース内にハイレベル授業クラスを1クラス設けてあります。

《二つ目》は45分7時間授業で土曜日を含めて、週38時間の授業を実



主要大学合格者数

大学名	今年度	昨年度
国公立大学	23名	10名
同志社大学	15名	8名
立命館大学	77名	18名
関西学院大学	19名	9名
関西大学	29名	28名
関関同立合計	140名	63名

大学名	今年度	昨年度
京都産業大学	7名	29名
龍谷大学	28名	23名
甲南大学	10名	13名
近畿大学	21名	34名
追手門学院大学	42名	39名
その他の大学	107名	125名

卒業生数235人(追大内部推薦者数39人)
外部受験者数196人